

全国英語教育学会 第50回記念埼玉研究大会

過去と未来をつなぐ
— JASELEの50年を総括して —

2025(令和7)年8月9日(土)・10日(日)

会場: 獨協大学

写真提供: 草加市

ご案内

以下の要領により、埼玉研究大会を開催いたしますので、ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。なお、大会案内、大会プログラム(6月下旬発表予定)、その他大会関連事項は、全国英語教育学会埼玉研究大会のウェブサイト上で随時発表いたします。最新の情報は、大会ウェブサイト(<https://kate-jp.sakura.ne.jp/cf/>)でご確認ください。

2025(令和7)年4月1日

全国英語教育学会会長	齊田 智里	(横浜国立大学)
大会実行委員長	西垣 知佳子	(千葉大学)
大会実行副委員長	羽山 恵	(獨協大学)
大会事務局長	星野 由子	(千葉大学)

- 期 日： 2025(令和7)年8月9日(土)・10日(日)
- 会 場： 獨協大学 (<https://www.dokkyo.ac.jp/>) 〒340-0042 埼玉県草加市学園町1番1号
- 主 催： 全国英語教育学会
(地区学会：北海道英語教育学会・東北英語教育学会・関東甲信越英語教育学会
中部地区英語教育学会・関西英語教育学会・中国地区英語教育学会
四国英語教育学会・九州英語教育学会)
- 後 援： 草加市教育委員会・埼玉県教育委員会・埼玉県高等学校英語教育研究会
(申請中を含む) 茨城県教育委員会・栃木県教育委員会・群馬県教育委員会・千葉県教育委員会
神奈川県教育委員会・新潟県教育委員会・山梨県教育委員会・長野県教育委員会
- 担当地区学会： 関東甲信越英語教育学会
- 大会事務局メールアドレス： jasele2025saitama@gmail.com

【重要な日程】

発表申し込み締切: 5月9日(金)

大会参加事前申し込み締切: 7月11日(金)

予稿集原稿提出締切: 5月30日(金)

(いずれも日本時間 17:00 まで)

参加要項

- 参加資格** 全国英語教育学会の会員、または、会員以外で英語教育に従事している方、及び英語教育に関心を持っている方なら、どなたでもご参加いただけます。
- 参加申し込み** 参加を希望されている方は、できるだけ事前に申し込みをお願いいたします。申し込みの際には、埼玉研究大会ウェブサイト (<https://kate-jp.sakura.ne.jp/cf/>) を通してお申し込みください。ご発表を申し込まれた方も大会参加の手続きが必要となります。
- 参加事前申し込み締切** 参加事前申し込み締切日時は **2025 (令和 7) 年 7 月 11 日 (金) 17:00 (日本時間)** です。締切後は「当日受付扱い」としてウェブサイトからの参加申し込みを受け付けます。当日の受付の混雑を避けるためにも、ウェブサイトからの事前申し込みをお願いいたします。
- 参加費** 参加の申し込み方法により変わりますので、ご注意ください。
- 事前申し込みの場合：プログラム集・大会予稿集のアクセス権も含めて、
会員 3,500 円、非会員 4,500 円、学生 2,000 円
 - 当日受付の場合：プログラム集・大会予稿集のアクセス権も含めて、
会員・非会員ともに 5,000 円、学生 3,000 円
- ※当日受付の参加費は「電子決済」か「振込(後日)」でお支払いください。(現金支払いはお受けできません)
- ※学生(学部学生、専任職を有しない大学院生)の場合、ウェブサイトでの参加申し込みの際に学生証の画像を送付してください。当日受付の場合は、受付で学生証を提示してください。
- ※本学会は、小学校英語教育学会(JES)と提携しております。小学校英語教育学会(JES)の会員の方は、全国英語教育学会会員でなくても、会員と同額(事前申込：3,500円、当日受付：5,000円)になります。
- 懇親会に参加の場合：8月9日(土)18:30~20:30 獨協大学コミュニティスクエアで定員200名にて開催。
会員・非会員・学生ともに8,000円。
 - 弁当を申し込みの場合：弁当とお茶を含め、1,2日目ともに1,200円。
※懇親会と弁当の申し込みは、7月11日(金)17:00(日本時間)までにウェブサイトから行ってください。
- 申し込みのキャンセル** 埼玉研究大会ウェブサイト上で、大会参加・懇親会・弁当のキャンセル・返金を、7月26日(土)まで受け付けます。それ以降のキャンセル・返金はできませんので、ご了承ください。なお、大会参加申し込みをキャンセルした場合、大会期間終了後に配信される一部コンテンツの録画視聴はできません。
- 派遣申請書** 大会参加の派遣申請が必要な方は、依頼先・住所・氏名を明記の上、所属長名を付記して、大会事務局(jasele2025saitama@gmail.com)までメールでお申し込みください。
- 学生会員の大会参加助成制度** 本学会には、学生会員の大会参加助成制度があります。詳しくは、全国英語教育学会HPの「学生会員の研究大会参加助成金制度」内の制度概要・応募要領をご確認の上、応募要領に従って、全国英語教育学会学生支部事務局(jaselegakuseishienbu@gmail.com)までご連絡ください。

発表要項

- 発表者の資格**
- (1) 2025(令和7)年2月末までに、全国英語教育学会に会員登録し、2024(令和6)年度分の会費を納入していることが必要です。
 - (2) 共同発表では、筆頭の発表者が上記の条件を満たし、かつ他の発表者全員が発表申し込み締切日までに全国英語教育学会に会員登録し、会費を納入していることが必要です。筆頭者は、共同発表者の会員登録と会費納入が発表申し込み締切日までに完了されていることを、責任をもってご確認ください。
 - (3) 研究大会の実行委員会においても、発表申し込み終了時点で、研究発表・事例報告の発表申し込み者全員について、全国英語教育学会事務局の会員名簿によって資格審査を行います。その結果、共同研究において共同研究発表者としての資格を有していない方が含まれていると判明した場合は、共同研究それ自体の発表ができませんので、ご留意ください。

自由研究発表・事例報告の申し込み

- (1) 発表申し込みは、「全国英語教育学会 第50回記念埼玉研究大会」ウェブサイトの「発表要領&申し込み」のページから行ってください。発表題目、その他必要事項を記入し、**5月9日(金) 17:00(日本時間)**までに申し込んでください。要旨の内容を審査の上、発表申込の採択を判断させていただきます。なお、発表申し込み後は発表題目・発表者等を一切変更できません。
- (2) 発表は2件まで可能ですが、筆頭の発表者には1回しかねられません。ただし、フォーラム、ワークショップ、シンポジウムを含みません。
- (3) 発表要旨の作成に当たって
 - ① ウェブサイト上の発表申し込みフォームに書き込んでください。
 - ② ・日本語：200字以内、タイトルや所属を含めない
・英語：50語程度、タイトルや所属を含めない
 - ③ 図や写真、表は入れられません。
 - ④ 発表タイトル及び要旨は、発表言語に合わせてください。
- (4) 発表カテゴリーは以下のようになっております。
 - A. 種類 自由研究発表 又は 事例報告
 - B. 形態 口頭発表 又は ポスター発表
- (5) 発表の日時の指定や希望は受け付けませんので、ご了承ください。

予稿集原稿執筆要領

- (1) 予稿集(ウェブ版)を制作するにあたり、執筆要領に従って、A4判2枚(厳守)で原稿を作成してください。その際、大会ウェブサイト上のテンプレートを使用して作成してください。
- (2) 発表予稿集原稿を作成する際には、自身の研究内容と他の研究者の研究内容とが明確に区別されるように記載してください。特に、自身の研究内容が他の研究者の研究と密接な関係にある場合(例えば、共同発表で行った内容を改めて個人で発表する場合)、その旨を原稿の中(本文及び引用文献)で明確に記載し、必要に応じて事前に発表内容に関して当該研究者の了解を得るなど、他の研究者の知的財産権を侵害しないように配慮してください。
- (3) 原稿は大会ウェブサイトの「予稿集執筆&提出」から、Word/PDFの両方をご送付ください。
- (4) 予稿集原稿作成のお問い合わせは、大会ウェブサイトの「お問い合わせフォーム」をご利用ください。
- (5) 予稿集の執筆要領は、大会ウェブサイトに掲載しますのでご覧ください。執筆要領に従っていない原稿は、大会実行委員会で修正、あるいは執筆者に差し戻しとなる場合があります。
- (6) 埼玉研究大会では予稿集をpdfファイルにして大会ウェブサイトに掲載いたします(参加申し込み者に対する限定公開となります)。
- (7) 図表(特に写真)の掲載について、著作権の取り扱いには十分ご注意ください。また写真に写り込んだ児童・生徒や学生・教員などの顔、書籍の書影やアプリの写真などについて、執筆者の責任で許諾を取る、写真等の加工をしておく等、必要な手続きをお取りください。
- (8) ウェブサイト上に公開される予稿集原稿はカラー表示されます。
- (9) **予稿集原稿 提出締切：2025(令和7)年5月30日(金) 17:00(日本時間)**

発表要領

- (1) 自由研究発表・事例報告は、発表・報告20分、質疑応答10分、計30分です。司会者はつきません。進行の補助をするタイムキーパーがつきます。
- (2) 機器の不具合やインターネット接続環境の問題で発表時間の短縮があっても、終了時間はお守りください。
- (3) 自身が関わっている著書や教材等の宣伝チラシや、自身が関わっている研究会等の案内チラシなどの配布や、スクリーンでの紹介・案内行為については、原則認められていません(賛助会員による発表は除く)。ただし、発表内容に関連して、自身が関わっている著書・教材・研究会等に補足的に触れることは、営利目的でない限り認められます。
- (4) ポスター発表は、あらかじめ指定された時間帯(コアタイム)で60分間ポスター前にて発表・質疑応答をお願いします。
- (5) 予稿集のための原稿を作成する場合と同様、自身の研究内容と他の研究者の研究内容が明確に区別されるように記載してください。特に、自身の研究内容が他の研究者の研究と密接な関係にある場合(例えば、共同発表で行った内容を改めて個人で発表する場合)、その旨をスライド・ポスターの中(本文及び引用文献)で明確に記載し、必要に応じ事前に発表内容に関して当該研究者の了解を得るなど、他の研究者の知的財産権を侵害しないように配慮してください。

大会日程概要

8月8日（金）

午後 理事会（於：獨協大学）

8月9日（土）

時間帯	内 容
8:30～	受付
9:00～9:30	開会行事
9:40～10:50	自由研究発表・事例報告・賛助会員による発表 ① 9:40～10:10 ② 10:20～10:50
11:00～12:20	特別講演
12:20～13:40	昼食・休憩
12:30～13:30	大学生・大学院生フォーラム
13:30～14:30	ポスター発表コアタイム（9:40 掲示開始）
13:40～15:30	自由研究発表・事例報告・賛助会員による発表 ③ 13:40～14:10 ④ 14:20～14:50 ⑤ 15:00～15:30
15:40～17:20	課題研究フォーラム・授業研究フォーラム ・課題研究フォーラム1年目（関西、四国） ・課題研究フォーラム2年目（北海道、中国） ・授業研究フォーラム（東北、中部）
17:30～18:10	総会
18:30～20:30	懇親会（於：獨協大学コミュニティスクエア）

8月10日（日）

時間帯	内 容
8:30～	受付
9:00～12:50	自由研究発表・事例報告・賛助会員による発表 ⑥ 9:00～9:30 ⑦ 9:40～10:10 ⑧ 10:20～10:50 ⑨ 11:00～11:30 ⑩ 11:40～12:10 ⑪ 12:20～12:50
9:00～12:50	ワークショップ 1. 9:00～10:10 2. 10:20～11:30 3. 11:40～12:50
11:50～12:50	ポスター発表コアタイム（9:00 掲示開始）
12:50～14:10	昼食・休憩
13:00～14:00	大学生・大学院生フォーラム
14:10～15:50	シンポジウム
15:50～16:20	閉会行事

* 賛助会員は研究大会で発表（新教材の開発研究発表やデモなど）を行うことができます。

発表を希望される場合は、大会ウェブサイトより5月9日（金）17:00（日本時間）までにお申し込みください。

* 参加申し込み者は、後日に一部のコンテンツを録画にて視聴していただけます。

プログラム紹介

シンポジウム

日本の英語教育の将来—全国英語教育学会（JASELE）50 年を総括し、未来を描く—

コーディネーター兼登壇者： 齊田 智里（横浜国立大学、全国英語教育学会会長）

登壇者： 深澤 清治（広島大学名誉教授、全国英語教育学会前会長・顧問）

佐久間 康之（福島大学、全国英語教育学会 *JASELE Journal* 前編集委員長）

森 好紳（白鷗大学、全国英語教育学会学生支援部部長）



シンポジウム概要：

本シンポジウムでは、全国英語教育学会の 50 年の歩みを振り返り、現在の研究動向を総括した上で、今後の方向性を議論する。前半では、『全国英語教育学会 50 周年史』をもとに本学会の発展を振り返り、学会誌 *JASELE Journal* (旧 *ARELE*) に掲載された研究を中心に日本の英語教育研究の動向を分析する。また、若手研究者支援の現状を紹介し、学会としての取り組みと今後の課題について検討する。

後半では、「JASELE の将来」をテーマに座談会を行い、学会の発展に向けた課題や展望について多角的に議論する。50 周年の節目に、日本の英語教育の未来を見据え、JASELE の役割と可能性を探る場としたい。



特別講演 AI とともに学ぶ時代の英語教育—日本全国の教育現場からのケーススタディー—

講師： 高橋 一也（ELSA JAPAN 合同会社 文教市場責任者）

講演概要：

本講演では、生成 AI の登場という新たな教育環境の変化を踏まえ、日本の英語教育現場における実践的取り組みを考察する。現場の教員は、第二言語習得理論を踏まえた授業や ICT 活用、進学実績など、多様な要求に直面している。そうした状況下で、各教育現場では AI の活用をどのように模索し、また向き合っているのか。本講演では、複数の教育現場から先進的な実践事例を取り上げ、AI との共生時代における効果的な英語教育の在り方を探究する。各事例の分析を通じて、今後の英語教育における AI 活用の可能性と課題を提示し、参加者からのご意見を頂戴したい。

..... 特別講演講師 プロフィール.....

高橋 一也（たかはし かずや）

慶應義塾大学・同大学院を卒業後、米ジョージア大学教育大学院にて授業デザイン法を学び、全米優等生協会に選出される。帰国後、聖学院中学・高等学校に英語教諭として勤務。2018 年はオランダ・ユトレヒト大学大学院で認知心理学を研究。2016 年度から 2019 年まで工学院中・高の教頭を務める。教育理論の知見に基づき、PBL (Project-Based Learning、問題解決学習) やアクティブ・ラーニングなど新たな授業スタイルを実践し続けている。2016 年には日本人として初めてグローバルティーチャータラント賞の最終候補に選出される。秋田県湯沢市教育委員会や京都府京丹後市教育委員会のアドバイザー、日本私学教育研究所研究員などを兼任する。現在、東北大学医学系大学院で教育脳科学分野の博士論文と格闘中。著書に『世界で大活躍できる 13 歳からの学び』(主婦と生活社、2006)。



◇ 課題研究フォーラム 1 年目

1. 「生身からのことばで語る—AI時代の英語教師の成長—」(関西英語教育学会)

- ・コーディネーター兼提案者： 山本 玲子 (京都外国語大学)
- ・提案者： 柳瀬 陽介 (京都大学)・長嶺 寿宣 (龍谷大学)
- ・指定討論者： 吉田 真生 (京都大学大学院生)

2. 「『読むこと』を起点とした統合型言語活動の指導」(四国英語教育学会)

- ・コーディネーター： 池野 修 (愛媛大学)
- ・提案者： 立松 大祐 (愛媛大学)・折本 崇 (砥部町立砥部中学校)
和家 加奈 (松山市立東中学校)・森下 聡太 (東温市立拝志小学校)

◇ 課題研究フォーラム 2 年目

1. 「教室のできる英語語彙指導を考える」(北海道英語教育学会)

- ・コーディネーター： 笠原 究 (北海道教育大学)
- ・提案者： 岩田 哲 (北海学園大学)・金山 幸平 (北海道教育大学)
鈴木 健太郎 (北海道教育大学)・濱田 裕介 (北嶺中・高等学校)

2. 「通常の学級での英語授業における学習者支援—持続可能な『個別最適な』学びの実現—」 (中国地区英語教育学会)

- ・コーディネーター： 大谷 みどり (島根大学)・猫田 英伸 (島根大学)
- ・提案者： 神田 彩英子 (島根大学教育学部附属義務教育学校前期課程)
坂田 直子 (島根大学教育学部附属義務教育学校後期課程)
篠村 恭子 (島根大学)・村田 美和 (高崎健康福祉大学)

◇ 授業研究フォーラム

1. 「英語科の授業における生成 AI の活用と課題」(東北英語教育学会)

- ・コーディネーター： 丹藤 永也 (青森公立大学)
- ・提案者： 横内 裕一郎 (福島大学)・堤 孝 (青森県立青森高等学校)
小西 静子 (青森市立北中学校)

2. 「中学校における読むことの『思考力、判断力、表現力等』の指導のポイント」(中部地区英語教育学会)

- ・コーディネーター： 酒井 英樹 (信州大学)
- ・提案者： 笠井 勇也 (飯田市立竜峡中学校)・久保村 美公 (諏訪市立上諏訪中学校)
齊藤 優 (信州大学教育学部附属長野中学校)

◇ 大学生・大学院生フォーラム

1 日目 「大学生・大学院生のための交流の場」

- ・司会： 鈴木 健太郎 (北海道教育大学)

2 日目 「大学生・大学院生のためのキャリアパス—若手大学教員のワークとライフ—」

- ・司会： 小木曾 智子 (富山大学)
- ・登壇者： 山内 優佳 (広島大学)

◇ ワークショップ

1. 「英語授業とストーリーテリング」

講師：小野 尚美（成蹊大学）・田縁 真弓（京都光華女子大学）

吉本 連（ノートルダム学院小学校）・赤枝 康隆（明石市立魚住中学校）

2. 「生成 AI の活用」

講師：青田 庄真（茨城大学）

3. 「ディスカッションの指導」

講師：上山 晋平（福山市立福山中・高等学校）

◇ 地区特別企画

「関東甲信越英語教育学会（KATE）50年の歩み」

KATE50年の歩みを振り返り、ご紹介いたします。5月ごろより、埼玉研究大会ウェブサイトにて順次配信いたしますので、ぜひご覧ください。

会場でのネットワーク利用

獨協大学は eduroam の参加機関です。eduroam アカウントをお持ちの方は Wi-Fi をご利用いただけます。なお、予稿集につきましては、可能な限り事前にダウンロードしていただきますようお願いいたします。

各種申し込み一覧

◆ 発表申し込み 5月9日（金）17:00（日本時間）まで

・埼玉研究大会ウェブサイト「発表要領&申し込み」からお申し込みください。

◆ 大会予稿集原稿 5月30日（金）17:00（日本時間）まで

・埼玉研究大会ウェブサイト「予稿集執筆&提出」からご送付ください。

・予稿集原稿についてのお問い合わせは、埼玉研究大会ウェブサイトの「お問い合わせフォーム」をご利用いただくか、大会事務局のメールアドレス宛てにお送りください。

◆ 大会参加・懇親会・弁当の申し込み 7月11日（金）17:00（日本時間）まで

・大会参加・懇親会・弁当は、埼玉研究大会ウェブサイト「参加要領&申し込み」からお申し込みください。

・発表を申し込まれた方も、大会参加の申し込みが必要です。

・懇親会は、8月9日（土）18:30 から獨協大学コミュニティスクエアにて会費 8,000 円で開催いたします。定員（200名）に達し次第 締め切らせていただきます。

・1日目及び2日目の弁当の申し込みを受け付けます。代金はお茶を含めて両日とも 1,200 円です。

その他

◆ 会場周辺

研究大会期間中、大学内の食堂およびコンビニエンスストアは営業していませんが、会場周辺にはスーパーマーケットや飲食店があります。（参考：「トーブイコート」<https://www.tobu-icourt.jp/>）

◆ 宿泊

今回学会では予約を承っておりません。埼玉研究大会の期間は繁忙期のため、各自で早めの予約をお勧めいたします。

◆ キッズスペース

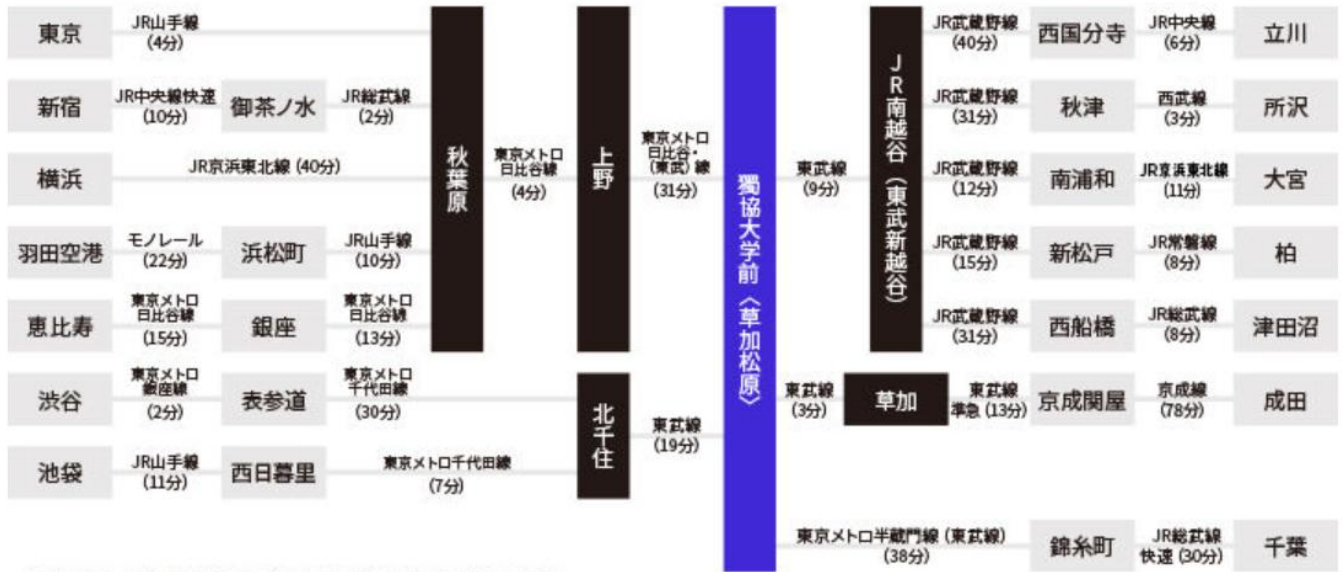
本研究大会では託児コーナーは設けておりませんが、お子さま連れのご参加を歓迎しております。詳細は、右の二次元コードをご覧ください。発表会場へのお子さまの同伴が可能（優先席用意）であること、事前予約不要のキッズスペースの開設、近隣の託児施設の案内が書かれています。



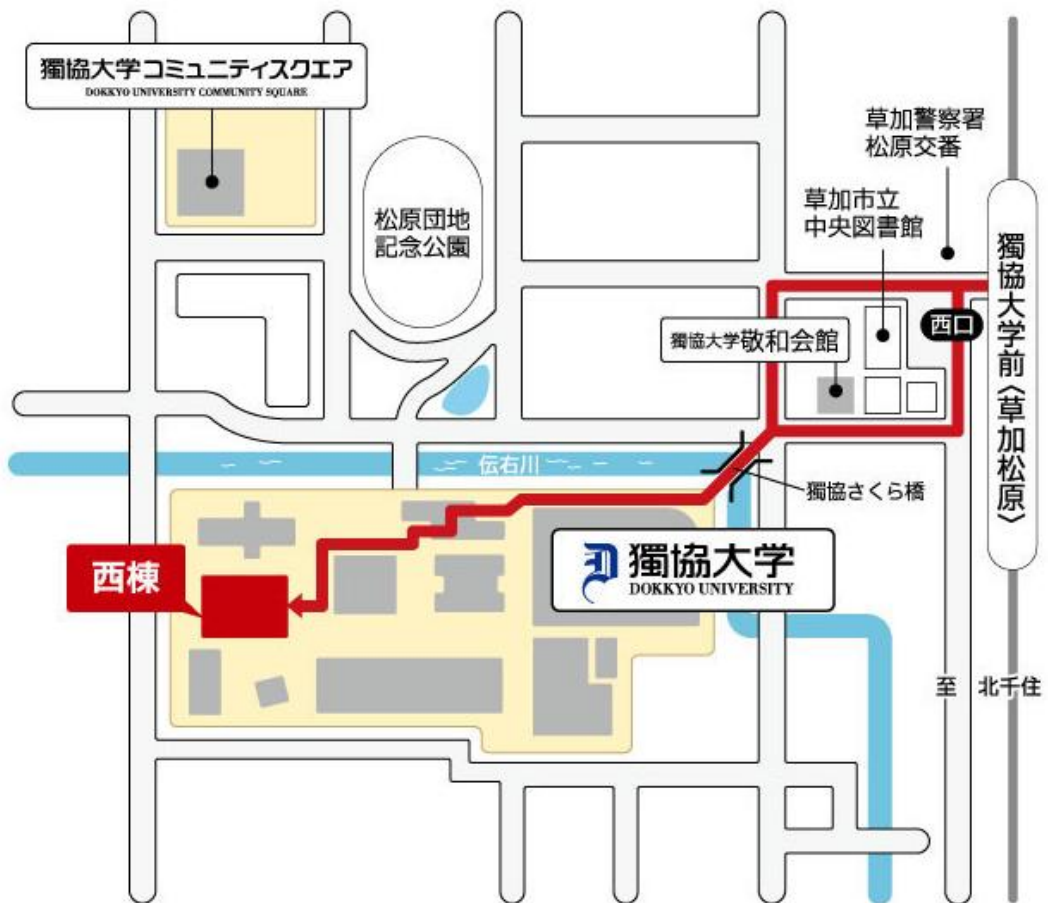
会場アクセス

◆ 獨協大学へのアクセス (<https://www.dokkyo.ac.jp/about/outline/access.html>)

※ 会場には一般参加者のための駐車スペースはありません。公共交通機関をご利用ください。



◆ キャンパスマップ



◆ 大会問い合わせ先：大会事務局

〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町 1-33

千葉大学教育学部 星野 由子

email : jasele2025saitama@gmail.com

大会ウェブサイト : <https://kate-jp.sakura.ne.jp/cf/>

